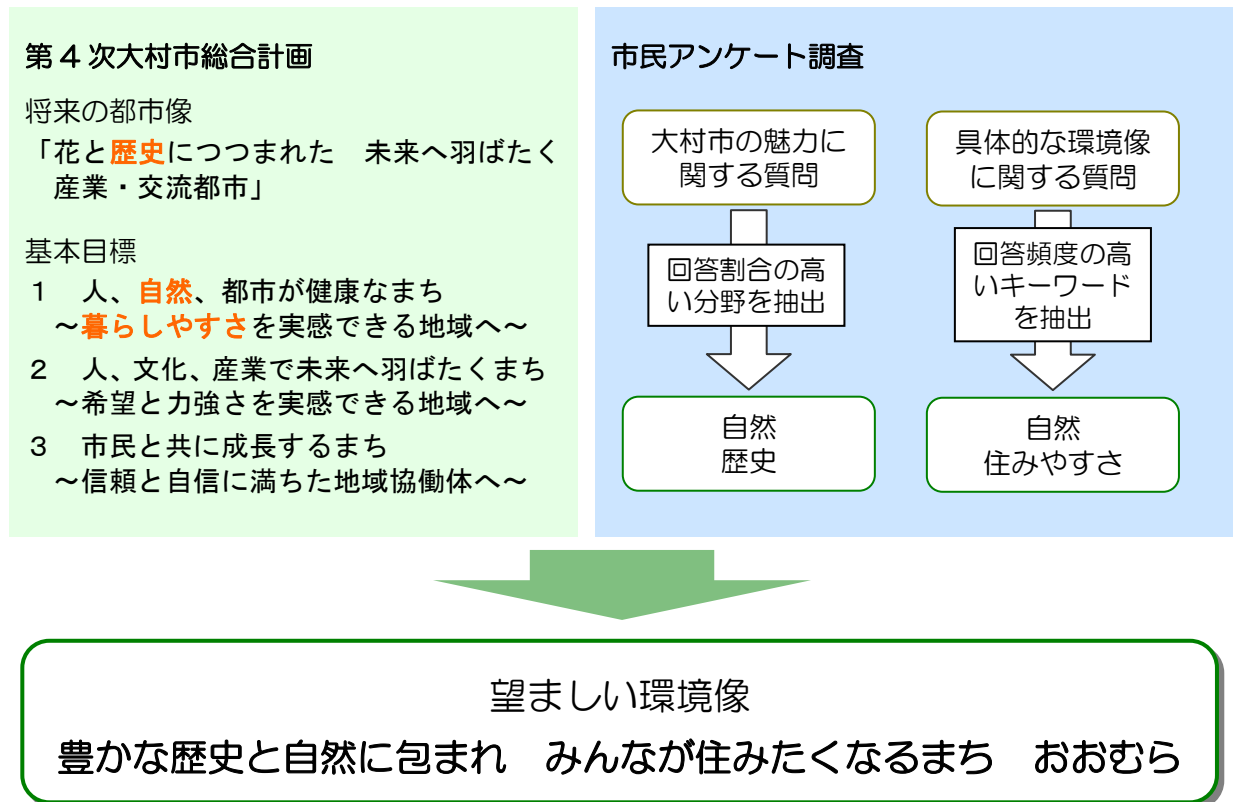


第2章 計画の目標

第1節 望ましい環境像

「望ましい環境像」とは、市・市民・事業者が協働で目指す大村市のあるべき環境の姿を示すものです。「第4次大村市総合計画」の将来像及び基本目標並びに市民アンケート調査から導き出された大村市の魅力及び望む環境像などを踏まえ、次のとおり設定します。



■ 豊かな歴史と自然

市民アンケート調査における大村市の魅力に関する質問では、その魅力として、「長崎空港、大村インターチェンジがあること」(回答率：73.3%)との回答が最も多く、次いで「山や海が身近に感じられること」(回答率：53.0%)、「大村湾があること」(回答率：30.2%)、「歴史的資源があること」(回答率：24.8%)でした。また、環境像に関する質問では「自然」に関する意見が最も多く、「人と自然が共生したまち」、「自然豊かなまち」などの意見が得られました。

大村市は、玖島城跡をはじめとする多くの歴史的資源を有しており、これらは古くから市民に親しまれてきました。また、多良山系の森林や大村湾などの豊かな自然環境が身近に存在しており、私たちの生活にうるおいと安らぎを与えています。

大村市を特徴づける豊かな歴史環境と自然環境を保全し、次世代につなげていくことは私たちの責務です。

■ みんなが住みたくなるまち

環境像に関する質問では「自然」に関する意見に次いで、「住みやすさ」、「暮らしやすさ」に関する意見が多く、「住み心地の良い環境」、「子供達に安心・安全な町」、「住みやすい大村市」などの意見が得られました。

みんなで大村市の誇れる環境を守り・育てていくとともに、環境問題の解決に取り組むことで、現在住んでいる人が今後も住み続けたい、また、市外の人も住んでみたいまちを目指します。

第2節 基本目標

基本目標については、国の「第四次環境基本計画」で示されている取組項目を参考にするとともに、大村市が「第4次大村市総合計画」で示している自然環境、生活環境及び都市環境などの保全・整備に関する取組の基本方針に沿って設定しました。

■ 地球温暖化対策に取り組むまちづくり（低炭素社会の構築）

再生可能エネルギーの利用や省エネルギー対策、環境負荷の低い乗物の利用など、様々な地球温暖化対策を推進することにより、低炭素社会の構築に貢献するまちを目指します。

■ ごみの減量化・資源化に取り組むまちづくり（循環型社会の構築）

「もったいない」の精神のもと、廃棄物の3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）の取組を推進することにより、資源が循環するまちを目指します。

■ 自然と共生するまちづくり（自然環境の保全）

大村湾や多良山系などの豊かな自然環境や野生動植物の生息・生育環境を保全し、自然とふれあえる場を確保することにより、自然と人が共生するまちを目指します。

■ 安全・安心な生活環境に恵まれたまちづくり（安全・安心な生活環境の保全）

大気・水環境などの保全に努め、みんなが安心して暮らせるまちを目指します。

■ 快適でうるおいのあるまちづくり（快適な都市環境の創出）

歴史的資源を保全するとともに、公園や街路樹などの身近な緑や水と親しめる水辺空間など、自然を身近に感じる空間を整備することで、ゆとりとうるおいのあるまちを目指します。また、利用しやすい都市環境の整備に努め、快適なまちを目指します。

■ みんなで環境保全に取り組むまちづくり（環境教育・環境学習の推進と協働）

市・市民・事業者が相互に連携を図りながら環境教育や環境学習を推進することにより、一人ひとりが環境に関心を持ち、自分に何ができるかを考え、行動するまちを目指します。

